



QR コードから過去の振興区だよりがご覧になれます。



自然災害から尊い命を守るために……

早めの避難に向けた「避難訓練」を行いました!!

2月15日(日) 8時30分から自治振興センターを「第1開設避難所」として、仮の避難者50名、運営スタッフ(自治会長・市役所避難所班、危機管理課・保健師、本町支部女性会、消防団庄原分団等) 35名の総勢85名参加により開催しました。

昨年度から、避難訓練の方針として自主防災会(自治会)を対象とした「小規模な避難訓練」を継続して取り組むことしました。本年度は「宮内・永末・大久保東・大久保西の4自主防災会(自治会)」の地域の皆さんを仮の避難者として、迅速な避難行動(避難所開設の通報⇒呼びかけ⇒安全な場所への避難⇒安否確認⇒避難完了)を地域が結束して取り組んでいただきました。

8時30分に自治振興センターにスタッフ集合し、9時から避難訓練を開始しました。

- ①市役所から大雨洪水警報発令に基づき「避難所の10時開設」の連絡を受けて▶②全自治会へ緊急連絡▶③該当自治会へ再度、「避難行動」の連絡▶④避難所の開設作業(9時20分終了)▶⑤避難者の受付(9時50分~10時20分避難完了)▶⑥該当自治会の安否確認(10時25分終了)▶⑦避難行動終了(10時25分)

避難行動の終了後、防災研修会を開催し、危機管理課の小川課長から講評を含め「昨年の総領町の土砂災害は、気象情報・警戒情報の発令から5分間という短時間に災害が発生した教訓から「早めの避難の大切さ」を再認識する必要があるとあり、避難所班の岩瀧リーダーから段ボールベットの組み立て実践・避難所物資の説明をしていただきました。また本町女性会の支援により「非常食の試食」を短時間ながら参加者の皆さんに体験をいただきました。

そして、全員で片付け作業を行い11時に終了しました。今後、今回の避難訓練の成果と課題を検証し次年度へ繋げてまいります。

この間、本訓練に協力いただきました市役所職員を始め多くの皆様に心からお礼を申し上げます。



2月役員会報告

(2月24日) 協議事項等は次の通りです。

13時30分から14時30分 令和7年度防災研修会
講師 北自治振興区 高橋秀則事務局長

議題

- (1) 自治会活性化補助金等に関する審査結果について
- (2) 令和7年度重点事業の取り組みについて
- (3) 令和7年度一般会計補正予算(案)について





開会行事

運営スタッフ班打合



施設管理班



食料物資班



救護衛生班

避難所開設準備



避難者受付開始



非常食の試食



段ボールベット設置訓練



危機管理課長の講評・研修



閉会のあいさつ



参加者全員で片付作業

令和7年度「福祉関連団体合同研修会」

研修テーマ 「地域につながる・支え合う～笑顔あふれるサロンをめざして～」

令和8年2月12日（木）13時30分から自治振興センター多目的ホールに、自治振興区の「福祉団体連携会議」に所属する6機関団体から62名の参加により「福祉関連団体合同研修会」を開催しました。

今年度は、パネルディスカッション形式で日頃、自治会で「サロン活動」を実施又活動に支援をされている4団体から5名のパネラーにより、地域での「サロン活動」の現状・課題などを発表いただき、コーディネーターの庄原地区民生委員児童委員協議会の才木雅仁さんにより討論を深めていただきました。最初に、石丸自治会のサロン代表の貝崎若子さんから、平成31年にサロンを立ち上げ、現在も3人の世話人により、月1回の活動を自治会の支援をいただき継続している。毎月リハビリ体操を行い、バス旅行も企画し、20名の参加で集い話すことの大切さを基本に活動している。次に、同石丸地区の民生委員児童委員の坂井さんにより、サロンは民生委員活動において、参加されている方を含めて地域の方が元気で生活されていることの確認や情報の共有にもつながり、これは「地域の宝」だと感じている。その理由としてサロンで行われていることは「健康」「学び」「楽しみ」が盛り込まれていることです。次に永末大久保地域の民生委員児童委員の横田さんからは、サロンに参加させていただきお手伝いをする中で、地域の方とのふれあいや会話を通して情報交換もでき、安否確認・健康維持に大きくつながっている。年々、集会所までの行きかえりが難しくなって来ている人も多くなってきた。そして、庄原社会福祉協議会の水間地域コーディネーターからは、専門的な立場から社協の活動内容、サロン活動のはじまり、サロン活動の大切さを踏まえて、特に高齢者が抱える「孤立・孤独」は研究者によると「孤独は一日たばこを15本吸うのと同じくらい健康に影響を与えている」事などや市社協がサロンで利用できるグッズ紹介などを報告されました。最後に自治振興区からは滝口事務局長から自治振興区が推進しているサロン活動のこれまでの経過やサロンが実施されていない地域への支援について報告をしました。その後、参加者から意見をいただき、まとめとして才木コーディネーターから、サロン活動の「日々のささやかな繋がり」の積み重ねこそが、地域を支える目に見えない力＝信頼関係という貯金であり、「地域の宝」となります。個人＝点から地域＝面の繋がりを一層深めて行きましょう。



令和7年度「防犯研修会」

『平成22年7月庄原ゲリラ豪雨災害を振り返って』

令和8年2月24日（火）午後1時30分から「防災研修会」を多目的ホールで開催しました。今年度は平成22年7月に川北町・川西町・西城町大戸周辺で発生した「庄原ゲリラ豪雨災害」の状況・地域での取り組みを改めて振り返り、近年全国各地で発生している自然災害に対して地域の自主防災活動をより一層進めて行くことを目的に開催しました。講師に北自治振興区の高橋秀則事務局長をお願いし、当時の生々しい映像や発生後の自治振興区・行政の的確な取り組みについて詳しくお話をいただきました。



熱戦

子供将棋大会を開催しました!! 子供将棋教室最終日

生涯学習事業として、昨年9月から本年2月まで半年間にわたり、月2回“子供将棋教室を今年度も松田竹二郎さん(三次市)を講師に開催しました。教室には小学校1年生から6年生9名の参加があり、半年間の長丁場にもかかわらず、毎回ほとんどの子供達の参加があり意欲のある教室となりました。2月の最終日の2月21日(土)には成果を試す将棋大会を開催、終始緊張した雰囲気の中で、真剣勝負が繰り広げられ白熱した大会となりました。

熱戦のすえ、優勝は難波 結さん(庄原小4年)・準優勝は田部真規さん(庄原小4年)3位は藤原海人君(庄原小3年)が入賞されました。表彰式の後、講評として松田講師から「半年間、一生懸命に将棋と立ち向かってきました。これからも将棋とのつながりを多く持って少しずつ実力を積み上げてほしい」とありました。今回、原田奈菜穂さん・荒木佳子さんの6年生が将棋教室を卒業します。中学校に上がっても様々なことに挑戦してほしいものです。



庄原幼稚園の年長児が表千家茶道教室の皆さんと一緒に「卒園茶会」を開きました

庄原幼稚園の年長児9名が、3月の卒園を前に、表千家茶道教室の皆さんと一緒に「卒園茶会」を開きました。

園長先生や担任の先生に見守られながら、お辞儀の仕方やお茶のいただき方を教わり、子どもたちは少し緊張しながらも、湯気の立つお茶の香りに思わず笑顔を見せていました。

茶道教室の皆さんからは、道具の扱い方や相手を思いやる心について丁寧に教えていただき、子どもたちは一つひとつの所作を大切にしながら茶席に向き合っていました。

静かな時間の中で、卒園を迎える子どもたちの成長が感じられる、あたたかいひとときとなりました。



4月の振興区主催行事予定

- | | | |
|--------|----------------------|--------|
| 14日(火) | 理事・総務企画合同会議 | 13:30~ |
| 21日(火) | 環境防犯パトロール | 9:00~ |
| | (西下・西中・西上・実業通の各自治会長) | |
| 28日(火) | 役員会 | 13:30~ |
| | 毎週1回 「あいさつ・声かけ運動」 | |
| | 主催:庄原地区青少年健全育成協議会 | |



編集後記

初めて、庄原自治振興区「ITサロン」午後の部へ参加した。参加者は4名、講師の先生は2名。手厚い指導を受けることができた。自分のパソコンを持参し、その場でインターネットへ繋いでいただいた。写し出される先生のパソコン画面を見ながら、参加者の疑問や最近のAIアプリの使い方などを丁寧に分かりやすく教えて下さった。もやもやしていた私の疑問点を解決してくださり、すっきりしたと同時に、AIアプリ(NotebookLM)について詳しく具体的に教えて下さった。自分のパソコンでやってみて感心した。「ここまでできるのか!!」

家でも早速、活用していきたい。生活に活力を与えてくれるツールになりそうだ。

渡辺 記